

令和 6 年度

名寄市議会 「市民との意見交換会」



前回の意見交換会の様子（令和 5 年 7 月 12 日 駅前交流プラザ「よろーな」）

令和 6 年 7 月 8 日（月）

◎駅前交流プラザ「よろーな」（大会議室） 午後 6 時 3 0 分

令和 6 年 7 月 9 日（火）

◎名寄市民文化センター（東館 大会議室） 午後 1 時 3 0 分

令和 6 年 7 月 1 1 日（木）

◎智恵文多目的研修センター（大集会室） 午後 6 時 3 0 分

令和 6 年 7 月 1 2 日（金）

◎ふうれん地域交流センター（大ホール） 午後 6 時 3 0 分

意見交換会次第

1. 開 会

2. 班代表者挨拶

3. 議員自己紹介

4. 報 告

◎活動報告

※定例会及び臨時会の審議概要について

(令和5年第4回定例会～令和6年第2回定例会、
令和6年第1回臨時会～令和6年第2回臨時会)

※各常任委員会等の活動について

※政務活動費（令和5年度）

5. 意見交換

6. お礼の挨拶

7. 閉 会

報 告

【 定例会及び臨時会の審議概要について 】

昨年 7 月～11 月開催の「市民との意見交換会」「町内会との意見交換会」以降に開催された定例会の審議概要は以下のとおりです。

※令和 5 年 第 4 回定例会（11 月 29 日～12 月 15 日）

一般質問に 10 人の議員が登壇し、市政の課題について質問を行いました。

議案審議では、市民福祉常任委員会に付託されていた「名寄市認定こども園設置条例の制定について」原案どおり可決しました。その他、「義務教育学校の設置に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について」など16件の条例の制定及び一部改正を原案どおり可決しました。

主な補正予算では、市内小中学校等に空調設備を整備するため、学校空調設備設置工事実施設計委託料3,100万円、住民税非課税世帯を対象とした 1 世帯当たり 7 万円の給付金支給に係る、物価高騰に伴う住民税非課税世帯給付金給付事業費 2 億8,470万円の追加を可決しました。

他に、同定例会では「高温障害による農作物被害など厳しい情勢に見舞われる農業者の救済措置を求める意見書」 1 件を可決しました。

※令和 6 年 第 1 回臨時会（2 月 13 日）

令和 5 年度一般会計補正予算（第 9 号）について、審議を行いました。

主な補正予算では、物価高騰に伴う住民税均等割のみ課税世帯に 1 世帯当たり 10 万円の給付金また住民税非課税世帯及び均等割のみ課税世帯へ児童 1 人当たり 5 万円の給付金に係る、住民税非課税世帯給付金給付事業費 9,237 万 5 千円、物価高騰による市民生活への負担軽減及び地域経済の活性化を図るため、1 世帯当たり 1 万円分の電子地域通貨 Y o r o c a（ヨロカ）のポイントを配付する物価高騰対策臨時生活支援事業費 1 億 5,226 万 7 千円の追加を可決しました。

※令和6年 第1回定例会（2月29日～3月21日）

定例会初日に加藤市長より市政執行方針、岸教育長より教育行政執行方針が述べられ、3月11日には1会派が市政運営などに対する代表質問を行いました。

また、12日からの一般質問には7人の議員が登壇し、市政の課題について質問を行いました。

議案審議では、「地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正について」、市民福祉常任委員会に付託した「名寄市国民健康保険税条例の一部改正について」「名寄市介護保険条例の一部改正について」他31件を原案のとおり可決しました。その他任期満了に伴う教育委員会委員の任命について同意しました。

主な補正予算では、3回目の幹線道路の排雪を行った場合に見込まれる不足額として市道排雪業務委託料1,500万円、小学生の通院が増加したことによる乳幼児医療給付費500万円、ピヤシリスキー場ロッジの扉建具の経年変化による破損のため取替工事費として、なよろ温泉整備事業費60万2千円の追加を可決しました。

今定例会では、令和6年度予算案について全議員で構成する令和6年度「予算審査特別委員会」を設置し、審査を行いました。一般会計では、242億9,304万7千円、特別会計、企業会計を含む全会計では、504億8,739万4千円を原案のとおり可決すべきものと決定し、本会議において委員長報告のとおり可決しました。

※令和6年 第2回臨時会（5月13日）

議案審議では、「名寄市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について」原案どおり可決しました。また、3件の専決処分した事件について承認しました。その他任期満了に伴う「教育委員会教育長の任命について」及び「名寄市固定資産評価審査委員会委員の選任について」他1件を同意しました。

主な補正予算では、台湾東部沖地震に係る台湾地震災害見舞金30万円、地域通貨の行政ポイント付与事業に係るてくTECH活動事業負担金1,944万1千円の追加を可決しました。

※令和6年 第2回定例会（6月17日～6月26日）

一般質問に14人の議員が登壇し、市政の課題について質問を行いました。

議案審議では、「名寄市乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部改正について」他15件を原案のとおり可決しました。また、「令和5年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について」他8件を承認しました。その他退任に伴う「人権擁護委員の候補者の推薦について」同意しました。

主な補正予算では、Nスポーツコミッションと名寄市立大学が共同で行う健康づくり事業に対し、冬季スポーツ拠点化事業費261万8千円、物価高騰支援として新たに住民税非課税となる世帯などに対し、1世帯あたり10万円の給付とする物価高騰重点支援給付金給付事業費7,763万円、小学校空調設備工事に係る小学校維持管理事業費3,500万円、智恵文義務教育学校グラウンド整備に係る義務教育学校維持管理事業費1,400万円、ヒグマの早期発見・捕獲の効率を高めるため、熱感知センサーカメラと撮影した画像からAIがヒグマを識別すると通知が届くシステムの使用料を合わせた有害鳥獣・ヒグマ等対策事業費57万6千円、地域通貨における行政ポイント事業が追加されたことに伴い、138万1千円の追加を可決しました。

他に、同定例会では、「生涯を通じた歯科健診の実現を求める意見書」他3件を可決しました。

【 各常任委員会等の活動について 】

総務文教常任委員会

《所管調査事項》

当委員会は6月3日に委員会を開催し、各所管部署より令和6年度における主要事業の概要などについて説明を受け、活動を進めています。

『名寄市立大学』

令和6年度入学生は、社会福祉学科が定員を6名下回る44名となりましたが、他の3学科は定員を上回り、4学科全体で195名となりました。

入学生の出身高校所在自治体では、道内が151名（全体の77.4%）で旭川市31名、札幌市24名、帯広市10名等であり、道外は44名（全体の22.6%）

で岩手県 13 名、秋田県 6 名等となっています。

昨年 4 月より旭川大学の公立化移行の影響を踏まえ、従来の高校訪問活動を継続することに加え、進学相談会の充実・強化、また増加傾向にある専門学校進学希望者などへの大学進学の魅力発信にも取り組みを考えています。

コミュニティケア教育研究センターでは、地域交流・社会連携及び情報発信等を令和 6 年度の活動計画とし、取り組みを進めるとの説明を受けました。

『教育部』

中学校における「NAYOROスタイル部活動改革推進事業」で、令和 6 年度は拠点校部活動の取り組みを拡大するとともに、文化・スポーツ団体との連携充実（部活動指導員の活用拡大等）を進めていきます。同事業で取り組んでいる部活動学校間バス移動モデル事業については、前年度までの活動に伴う競技ごとのタクシー移動では財政的な負担が大きいことから、本年度は競技に関係なく時間を設定してスクールバスを活用した乗り合わせ移動に変更し、継続した支援に取り組むとの説明を受けました。

学校教育情報化推進事業では A I ドリルの活用促進、近年の酷暑対策として名寄小、名寄東小、名寄西小、中名寄小の普通・特別教室に空調設備設置工事を計画しています。

学校における生理用品配置について、児童生徒の約 8 割が配置を望んでおり、5 月～7 月に生理用品を試験配置し、その結果を受けて本格導入につなげていきたいと考えています。

『総合政策部』

公共施設等再配置計画推進事業で、フェーズ 1（令和 4～8 年度）対象施設（図書館、ワーケーション、学生寮、生活支援ハウス、児童センター）の事業検討、複合施設（図書館）候補地の検討を進めていきます。

物流拠点化では、土別剣淵～名寄間の高規格道路開通を見据え、「名寄インターチェンジ拠点整備構想」の実現に向けた検討組織を設立し、協議を開始しています。

名寄産業高等学校跡地等利活用検討準備会議では跡地活用について検討しています。

電子地域通貨「てく T E C H 活動事業」については、4 月 3 0 日に一時休止し、6 月 3 日より付与内容の見直しを行い、新たにスタートしました。

外国人材活躍推進事業では社会福祉事業団が窓口となり、あらゆる部門と協力しながら外国人材の活用を広げていく考えです。

『総務部』

B P R（業務改善）の取り組みで、昨年度選定した11業務の実装と今年度選定した業務にかかるワークショップ等の取り組みを実施します。

D X（デジタル・トランスフォーメーション）の推進では、外部人材のさらなる活用を進めていきます。

デジタル田園都市国家構想交付金の活用では、4月1日の交付決定により採択された a)小中学校情報機器整備事業、b)インターネット出願システム導入事業、c)地理情報のデジタル化及びGIS導入によるデジタル情報の運用基盤構築、d)水道スマートメーター導入事業が実施されます。

総務省からの公共施設等総合管理計画の見直しに係る通知により、名寄市公共施設等総合管理計画の改定に取り組んでいきます。

★当委員会では「複合施設のあり方について」をテーマとし、先進地事例も参考としながら具体的な活動を進めています。

市民福祉常任委員会

市民福祉常任委員会は、市民部、健康福祉部、名寄市立総合病院・名寄東病院及び名寄市風連国民健康保険診療所を所管しています。その中でも特に空家対策と子ども・子育て関連事業を重要課題と捉えています。

定例会で付託された国民健康保険税と介護保険税の条例改正に伴う審議では、団塊の世代が後期高齢者となる令和7年を見据えた社会情勢の変化に対応する必要があることや、コロナ禍における経済の低迷を加味しつつも、加入者の負担が過大とならないよう慎重な運営を求める意見や、一般会計からの繰入が増大した場合のデメリットを検証するなど、4回の日程にわたり議論を尽くした上審議し、原案の通り可決すべきと決定しました。

また、今後は空家対策や子ども・子育て事業の更なる拡充を目標として、道内先進地域の行政視察を予定しています。

経済建設常任委員会

令和6年に入り、6月10日までの間に5回の委員会を開催しました。

【第1回委員会】

経済部から農業経営基盤強化促進法に基づく地域計画策定について説明を受け、10年後の農地利用の将来図となる目標地図の作成に向け、策定スケジュール等確認を行いました。また、令和6年第1回臨時会における補正予算（案）についての説明を受けました。

【第2回委員会】・・・名寄商工会議所関係者との懇談会

名寄商工会議所会議室において、名寄商工会議所役員及び事務局の皆さんと懇談を行いました。今回の目的は、昨年末名寄商工会議所から名寄市に対し提出された要望書を基に、名寄市の現況と課題を共有するとともに、今後の施策についてそれぞれの立場で懇談し、認識を深めることにありました。懇談の中で少子化・人口減による人材確保・人材育成に対する課題や女性が安心して子育てしながら働くことができる環境づくり、物流や防災を意識したインフラ整備等々、多岐にわたり懇談することができました。

今期の所管事務調査テーマは「基幹産業である農業に着目した産業振興について」としています。この後も直接的・間接的に連携を保持しながら、名寄市の産業振興を進めていく旨確認しました。

また、懇談会の最後に「名寄市電子地域通貨ヨロカ」の利用状況や、ヨロカポイント利用状況についても説明を受け、定着状況等確認を行いました。

【第3回委員会】

経済部から2件（農産物簡易加工処理施設利用団体への聞き取り状況について。杉並区、リンゼイ、台湾との交流事業について。）の報告を受けました。

また、ピヤシリスキー場の入込状況やヒグマ対策についても説明があり、質疑により状況や今後の見通しについて確認しました。

建設水道部からは、道路除排雪事業についての中間報告があり、除雪回数及び苦情要望件数が令和4年度に比べ少ないとの説明がありました。排雪の状況についても確認を行いました。

【第4回委員会】

第2回委員会で行った懇談会の内容を基に委員間で討議し、共通認識を図りました。この内容を基に令和6年度の行政視察先を道内から選定し、所管事務調査をさらに進めることを確認しました。

【第5回委員会】

令和6年度事業計画の概要について説明を受けました。

経済部からの主な内容としては、農務課所管主要事業・農業振興センター事業・耕地林務課所管事業・産業振興課事業・農業委員会所管事業、改選にあたっての農業委員会委員の任命についてなど、説明がありました。

建設水道部からは、令和6年度の建設水道部所管建設工事発注事業について、予定委託業務42件12億3,154万5,000円と予定工事81件72億1,262万7,000円の概要説明がありました。昨年度に比べ、合計金額で約44億7,000万円増加している状況については、名寄中学校の改修事業費が含まれていることなどの説明が加えられました。委員からは、資材の高騰や労務単価の影響等による今後の見通しについて質疑があり、発注・入札・契約についても確認を行いました。また、令和5年度の除排雪事業についての最終報告がありました。

議会活性化特別委員会

【これまでの取組経過】

特別委員会は昨年6月27日に第1回委員会を開催し、今年の6月21日まで15回にわたり、当初の計画どおり1年を目途に具体的な取組事項の協議を行ってきました。

議会活性化特別委員会の目的は「議会の活性化に向けて、行政監視や政策立案といった機能の強化、女性や若年層の世代が活動に参加しやすい環境の構築を図ることで、議員力・議会力を向上させる」ことを目的に、具体的な取組事項を推進してきました。

【先進地視察（令和6年1月22日～24日：栗山町・登別市・芽室町）】

★栗山町 視察テーマ「議会改革の取り組みについて」

議会基本条例は議会の連続性を担保するため、これまでの改革で培った情報

公開のあり方や町民との交流活動を文章化することで、議員が入れ替わっても議会改革がとどまることのないように見直しを進めていました。

★登別市 視察テーマ「市民と共に歩む議会運営について」

議会改革のポイントは、改革を継続する具体的内容を市民に情報を伝えることであり、目的を持った改革で議会基本条例チェックシートを作成し、毎年議員本人が自己評価シートで確認を行っていました。

★芽室町 視察テーマ「議会活性化とモニター制度の導入と運営について」

具体的には分かりやすい議会・開かれた議会・行動する議会を目指し、任期4年間の目標を定め推進されていました。議会モニターの任期は1年で、私立高校生も参加しており、身近な応援団として継続していく努力をされていました。

【 視察を終えて 】

道内3か所の先進地視察を行い、名寄市議会基本条例の前文を含めて7項目にわたり、再度見直しを行い、議会活性化特別委員会の目的に沿った具体的な取組の協議を進めております。

【 その他具体的項目の推進について 】

★大正大学の江藤教授を招いて議員及び市民対象の研修会を実施しました。

(令和5年10月17日)

★定例会会期及び日程の短縮は、令和6年第1回・第2回定例会で試行的に実施しました。

★常任委員会の視察報告を議員協議会で情報の共有化を図る目的で、報告会を実施しました。

★サイドブックスの有効活用では、ラインワークスの活用により早く閲覧が可能となりました。

★常任委員会のオンライン会議については、実施に当たっての主な要件を整理して、議会運営委員会での具体的な協議を委ねました。

★名寄市議会業務継続計画（名寄市議会 BCP）については、議会運営委員会において災害等対策連絡会議設置規程の具体的な協議を委ねました。

★現行の3常任委員会は、令和7年4月より2常任委員会へ移行となりました。

★議会モニター制度の導入については、議会だよりのあり方を含め協議を進めることとなりました。

議会においても担い手不足や議会への関心の低さが指摘されております。特別委員会でのまとめを含め、より一層市民に寄り添い、目に見える形で市民の福祉向上に向けて成果を出せる議会として、歩みを進めていきます。

【 政務活動費（令和5年度） 】

議員に対しては、政務活動費として1人当り月10,000円、年間120,000円が会派又は会派に属さない議員に交付されています。

政務活動費は、平成12年の地方自治法改正で「政務調査費」という名称で新たに導入された制度で、平成25年度から「政務活動費」に名称が改められました。

名寄市にあつては使途基準に従い、会派又は会派に属さない議員が責任を持って執行し、議長に領収書原本（1円以上）を添付した報告書を提出しています。

令和5年度 名寄市議会各会派などの政務活動費執行状況 （単位：円）

区分	市政クラブ	市民ネット	公 明	日本共産党	市民の声	共生なよろ	備 考
当初交付額	880,000	440,000	110,000	110,000	110,000	110,000	
支 出	調査研究費	1,228,682	309,309				
	研 修 費					91,864	
	広 報 費				16,058		
	広 聴 費						
	要望・陳情活動費						
	会 議 費						
	資料作成費						3,170
	資料購入費	14,256			13,000		13,600
	人 件 費						
	事 務 所 費						
支出合計	1,242,938	309,309	0	29,058	0	108,634	
未執行額（返還額）	0	130,691	110,000	80,942	110,000	1,366	
交付額	880,000	309,309	0	29,058	0	108,634	

※交付額を超えた費用については、会派で負担しています。

※令和5年度は改選期のため、5月から11か月分を交付しています。

【 意見交換会の班体制（◎は班長） 】

《A班》 （担当・・・駅前交流プラザ「よろーな」、智恵文多目的センター）

◎山田 典幸（議長）

高野美枝子（議会運営委員会副委員長、総務文教常任委員会副委員長）

高橋 伸典（市民福祉常任委員会委員長、議会報特別委員会副委員長）

清水 一夫（経済建設常任委員会副委員長、議会運営委員会委員）

佐藤 靖（市民福祉常任委員会委員、名寄市監査委員）

川村 幸栄（総務文教常任委員会委員、議会報特別委員会委員長）

水間 健詞（経済建設常任委員会委員、議会運営委員会委員）

《B班》 （担当・・・名寄市民文化センター、ふうれん地域交流センター）

◎倉澤 宏（副議長、経済建設常任委員会委員）

遠藤 隆男（議会運営委員会委員長、総務文教常任委員会委員）

東川 孝義（総務文教常任委員会委員長、議会運営委員会委員）

山崎真由美（経済建設常任委員会委員長、議会運営委員会委員）

今村 芳彦（市民福祉常任委員会副委員長、議会報特別委員会委員）

東 千春（経済建設常任委員会委員）

谷 聡（市民福祉常任委員会委員、議会運営委員会委員）

中畠 孝幸（総務文教常任委員会委員、議会報特別委員会委員）